

授業科目

障害の評価と福祉用具演習

担当教員名 江原 義弘、真柄 彰、阿部 薫、佐藤 成登志、貝淵 正人、笹本 嘉朝、松本 潔、野口 潔、熊木 裕	対象学年	3	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	○	

授業の概要

障害をもった対象者によく適合した福祉機器を提案できるようになるために各種の疾患について福祉機器の処方から適合設定までの流れを総合的に修得する。

授業の目的

それまでに学習した医学的な知識と、義肢装具・福祉用具の知識を総合的に統合して、実際の臨床の中で義肢装具士の技能を十分に発揮できるようになるのが目的である。

学習目標

- 1) 福祉機器を必要とする代表的疾患、対象者の特徴を説明できる。
- 2) 福祉機器を必要とする代表的疾患、対象者の特徴を評価できる。
- 3) 最適と考えられる福祉機器の機能をデザインする。
- 4) 福祉機器に関連した各職種の役割について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	全体オリエンテーション 脳卒中片麻痺者の生理学的特徴・神経病理・身体的特性	講義	真柄 彰 他
2	脳卒中片麻痺者の福祉用具	講義	貝淵 正人 他
3	片麻痺の方へのテレビインタビュー	演習	江原 義弘
4	脳卒中片麻痺者の運動特性と評価（応用動作）、ADLの理解、OTの役割	講義	貝淵 正人 他
5	脳卒中片麻痺者の装具（急性期・回復期・維持期）	講義	笹本 嘉朝
6	脳卒中片麻痺者の運動特性と評価（基本動作）、ADLの理解、PTの役割	講義	佐藤 成登志 他
7	脊髄損傷・頸髄損傷の生理学的特徴・神経病理・身体的特性	講義	真柄 彰
8	脊髄損傷者・頸髄損傷者の方へのインタビュー	演習	江原 義弘
9	脊髄損傷者・頸髄損傷者の装具	講義	阿部 薫
10	脊髄損傷者・頸髄損傷者の移動機器（車いす・自動車など）	講義	熊木 裕
11	住宅改造	講義	熊木 裕
12	脊髄損傷者・頸髄損傷者の運動特性と評価（基本動作）、ADLの理解、PTの役割	講義	野口 潔
13	脊髄損傷者・頸髄損傷者の運動特性と評価（応用動作）、ADLの理解、OTの役割	講義	松本 潔
14	床ずれ防止用具・入浴関連用具・排泄	講義	松本 潔
15	まとめ/脊髄損傷関連	まとめ	江原 義弘

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

試験 小テスト レポート

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

ehara@nuhw.ac.jp